## 平成26年度(第1-2四半期)

# 事業の報告書

(平成26年4月1日▶平成26年9月30日)



【表紙写真について】 平成26年4月に竣工したパナマックス型 石炭専用船 "RISING WIND" (載貨重量トン数 82,119トン)



## 株主の皆様へ



代表取締役社長

小島徹

拝啓 株主の皆様には、ますますご清祥のこととお 慶び申し上げます。

## ■当年度の事業環境と業績

当社は今年5月に新中期経営計画(平成26年4月~平成29年3月)『Unite & Full-Ahead!』』を策定しました。重点戦略として「新日鐵住金㈱グループをはじめとする、国内外の顧客向け輸送サービスの深化・拡充」「NSUグループ内の協働・連繋強化による新規商権開拓および獲得」「安全・安定運航の徹底」「グローバル展開に向けた組織強化と

人材育成」「財務体質の強化」を掲げ、当社グループー丸となり計画の実現に取り組む所存です。

当第1・2四半期のドライバルク市況につきましては、全船型において当初の想定を下回る水準で推移しました。なかでも回復が遅れているパナマックス型撒積船市況は、他船型よりも余剰船腹が多いことに加え、中国向け石炭荷動きの停滞、北南米での穀物積出港における滞船減少を背景に、著しく低迷しました。一方、ケープ型撒積船市況やハンディー型撒積船市況は荷動きの活発化を受け、8月下旬以降は回復の兆候が見られました。タンカー市況につきましては、新造船竣工量が減少傾向にあるものの船腹過剰解消には至らず総じて上値が重い展開となりました。

このような状況の下、為替相場が想定以上に円安で推移したことに加え、配船効率の向上や減速運航による燃料費節減の徹底等の営業努力により、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は797億55百万円、営業利益は56億10百万円、経常利益は59億70百万円、四半期純利益は53億18百万円となりました。なお配当につきましては、海運市

況及び為替の先行きが不透明なこともあり、通期決 算時に判断することと致したく、第2四半期末にお ける配当は誠に遺憾ながら見送らせていただくこと と致しました。

以下、平成26年度第1・2四半期の事業別の概況 および、通期の見込みにつきましてご報告申し上げ ます。

## 敬具

## 平成26年度(第1-2四半期)決算サマリー

(単位:百万円)

	前第2四半期	当第2四半期
■ 売上高	76,300	79,755
■ 営業利益	4,143	5,610
■ 経常利益	3,982	5,970
■四半期純利益	5,693	5,318

## 

10 11

12

#### 新中期経営計画のテーマ

平成23年度~平成25年度 Unite & Full Ahead!

~新たなる価値の創造を目指して~

【新和海運㈱・日鉄海運㈱の合併によるシナジー効果の最大限発揮】

## Unite & Full Ahead! II

### 平成26年度~平成28年度 Unite & Full Ahead! II

~新たな発展へのスタート~

【NSUグループ企業全体の結集により、内外航ともに収益向上を図る】 【大型船型による資源輸送などの強みを伸ばし、プレゼンス向上を図る】

### 目標と重点戦略

### 中期経営目標

2018年度連結売上高2,000億円、連結営業利益120億円達成を目標に、ドライバルクを中心とした事業基盤を強化する。

#### - 5つの重点戦略

- ① 新日鐵住金㈱グループをはじめとする、国内外の顧客向け輸送サービスの深化・拡充
- ② NSUグループ内の協働・連繋強化による新規商権開拓および獲得
- ③ 安全・安定運航の徹底
- ④ グローバル展開に向けた組織強化と人材育成
- ⑤ 財務体質の強化

#### 船舶用燃料油価格の推移(内地ボンド重油)



## 事業別の概況

### ■外航海運事業

ケープ型撒積船につきましては、主要4航路平均 用船料が期初日額1万8千ドル台で推移したものの、 以降は雨季に伴うブラジル積み鉄鉱石輸送の鈍化や パナマックス型撒積船市況下落の影響を受け低迷が 続き、7月中旬には(※)主要5航路平均用船料が日 額9千ドル台まで下落しました。その後、中国の鉄 鉱石輸入やブラジルの鉄鉱石輸出の堅調さに加え、 新造船の供給圧力の低下等もあり、8月後半より日 額1万5千ドル以上のレベルまで回復しました。

このような厳しい事業環境ながら、主要荷主である新日鐵住金㈱殿向けの専航船が新たに竣工したことに加え、同社向け短期・中期輸送契約も積極的に獲得しました。また、海外事務所との連携を軸に海外顧客の開拓にも積極的に取り組みました。このような営業努力に加え、燃料費の節減を含めた効率配船に努めた結果、業績は前年同期から改善しました。

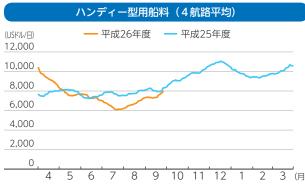
パナマックス型撒積船につきましては、近年の新造船の供給過多に加え、南米穀物出荷の停滞により大西洋水域では6月には一時日額1千ドル以下の水準まで落ち込みました。また、中国の景気減速による石炭輸入鈍化を受け、太平洋水域では春先の日額9千ドル台をピークに軟化を続け、6月から8月までの平均用船料は日額4千ドル台半ばと大幅に下落しました。9月に入り北米穀物輸送需要の増加期待から、わずかながら回復を見せたものの、期待された程の荷動き量の増加はなく、上期の平均用船料は日額7千ドル程度と低調に推移しました。

前年同期を大幅に下回る厳しい市況環境の中、太平洋・インド方面での主要顧客への積極的な営業活動による良質な契約獲得、減速運航の徹底による燃料コスト節減、高コスト船の処分および効率配船に



(※)ケープ型市況については、2014年5月5日以前:4航路平均、2014年5月6日以降:5航路平均(新基準)を記載





努め、利益を確保することができました。

ハンディー型撒積船につきましては、大西洋の大幅な市況下落による太平洋との水域間格差の逆転現象が起きる等、市況全般としては6~8月にかけて大きく落ち込んだ結果、当初想定した市況前提を下回る動きとなりました。

往航主力貨物である北米ガルフ・東岸向け鋼材の 輸送数量は前年同期比で若干の減少となった一方で、 北米西岸並びに中米西岸向けにつきましては大幅な 数量増となり、輸出鋼材全体としては数量・配船数 ともに前年同期比増となりました。

復航主力貨物である南米積み貨物において、長期 契約比率の高い南米西岸積み非鉄鉱物は安定的な収 益を確保しましたが、南米東岸積み穀物に関しては 市況下落の影響を受ける結果となりました。

このような状況下、市況下落の影響を極力吸収すべく効率配船に努めた結果、業績は前年同期より改善しました。

近海貨物船につきましては、主力の日本積み中国向け鋼材輸送量は、自動車産業向けは堅調に推移しましたが、その他産業向けは中国国内材との競合により、厳しい状況が続きました。減速運航による燃料消費量の削減や、効率運航徹底の効果もあり、業績は前年同期の実績には及びませんでしたが、利益を確保する事が出来ました。

タンカーにつきましては、VLCC市況は、冬場の需要期の終了や製油所の定期修理に伴う需要減等から、6月中旬まで低調に推移しました。その後、中国の原油輸入量の増加や長距離輸送の増加等を背景に、6月下旬に反発し、9月中旬積みまで堅調に推移しましたが、その後急落しました。

VLGC市況は、船腹量全体は微増となった一方、

平成26年度(第1-2四半期)当社グループ船隊整備実績 (5年以上の長期用船を含む)

	隻数	総重量屯数(K/T)
外航	5隻	436,099
内航	1隻	1,700

## 平成26年度(第3-4四半期)当社グループ船隊整備計画 (5年以上の長期用船を含む)

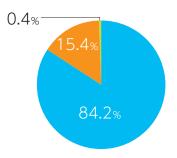
	隻数	総重量屯数(K/T)
外航	1隻	206,600
内航	1隻	3,500

## 平成26年度(第1-2四半期)事業別売上高

	売上高	前年同期比
■外航海運事業	673億円	3.9%
■内航海運事業	123億円	8.0%
 ■ その他	3億円	△12.4%

(※)事業別売上高は、各セグメント間の内部取引高消去前の数字です。

## 事業別売上高の割合



北米・アンゴラ等でのLPG生産増を受けアジア地域における需要が大きく伸長したこと等により、過去最高値を記録し好調に推移しました。

このような状況下、船腹稼働率の向上、減速運航 の徹底等に努めた結果、業績は前年同期比で改善し ました。

NS UNITED TANKER PTE. LTD.における外航ケミカルタンカー事業につきましては、所有船舶の入渠期間短縮や潤滑油等コスト削減を図ることにより、その他の船舶コスト負担増を吸収し、安定した業績を残すことができました。

以上の結果、外航海運事業全体としては、為替相場が想定以上に円安で推移したことに加え、配船効率の向上や減速運航による燃料費節減の徹底等の営業努力により、売上高は672億80百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益は49億88百万円(前年同期は32億61百万円の営業利益)となりました。

## ■内航海運事業

ドライ貨物につきましては、鉄鋼関連貨物や一般 貨物の荷動きは一部天候不順の影響を受けたものの、 概ね堅調に推移し前年同期比で増加しました。その 一方、需要減退のセメント関連貨物は前年同期比で 減少しました。さらに、燃料油価格の高止まり等と いった厳しい状況の下、効率配船・効率運航、コス ト削減に努めたものの、業績は前年同期比で減益と なりました。

タンカーにつきましては、LNG輸送は、当初の 想定より海上輸送需要が高まったことから、前年同 期比で輸送量が増加しました。その一方、LPG輸送 は民生用、工業用ともに天然ガスへの転換等の影響 を受けて輸送需要が縮小する中、船腹過剰となり市 況が悪化しました。このような状況下、船隊の効率 配船、効率運航に努め、業績は前年同期から大幅に 改善しました。

内航海運事業全体としては、売上高は123億3 百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益は6億13 百万円(前年同期は8億87百万円の営業利益)と なりました。

### ■通期の見通し

■ 当期純利益

平成26年度通期の業績は、売上高1,640億円、営業利益116億円、経常利益104億円、当期純利益88億円を予想しています。なお第3四半期以降の前提条件は、対米ドル円換算率を105円、燃料油価格は内地C重油価格トン当たり540ドルです。

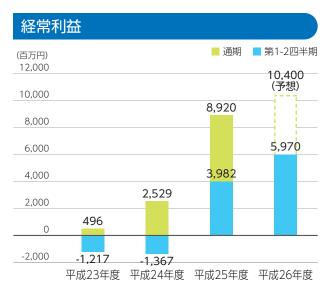
## 平成27年3月期連結業績予想

■売上高	1,640億円 (前期比 6.7%増)
■営業利益	116億円 (前期比31.2%增)
■経常利益	104億円 (前期比16.6%増)

88億円 (前期比 18.4%減)

## 連結財務ハイライト



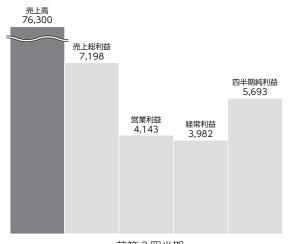




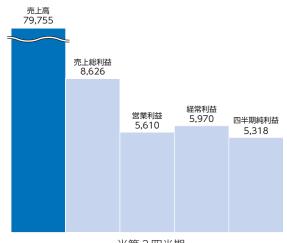


## 連結財務諸表

## 四半期連結損益計算書(要旨)(第2四半期連結累計期間)(単位: 百万円)



前第2四半期 (平成25年4月1日~平成25年9月30日)



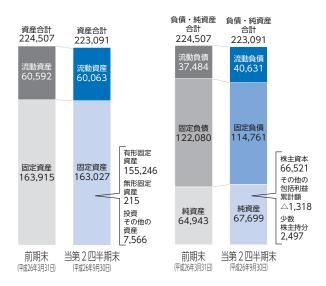
当第2四半期 (平成26年4月1日~平成26年9月30日)

(注) 平成26年9月30日現在の連結子会社は50社、持分法適用会社は3社です。 ※記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しています。

科 目	<b>前第2四半期</b> 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	<b>当第2四半期</b> 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
売 上 高	76,300	79,755
売 上 原 価	69,101	71,129
売 上 総 利 益	7,198	8,626
一般管理費	3,055	3,016
営業 利益	4,143	5,610
営 業 外 収 益	637	1,319
営 業 外 費 用	798	959
経 常 利 益	3,982	5,970
特 別 利 益	1,717	232
税金等調整前四半期純利益	5,699	6,202
法人税等	△ 238	766
少数株主損益調整前四半期純利益	5,937	5,437
少数株主利益	245	119
四半期純利益	5,693	5,318

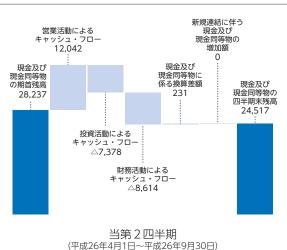
## 第2四半期連結貸借対照表(要旨)(単位: 百万円)

科目	<b>前期末</b> 平成26年3月31日現在	<b>当第2四半期末</b> 平成26年9月30日現在
資産の部		
流動資産	60,592	60,063
固定資産	163,915	163,027
資産合計	224,507	223,091
負債の部		
流動負債	37,484	40,631
固定負債	122,080	114,761
負債合計	159,564	155,392
純資産の部		
株主資本	63,423	66,521
その他の包括利益累計額	△931	△1,318
少数株主持分	2,451	2,497
純資産合計	64,943	67,699
負債・純資産合計	224,507	223,091



## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)(単位: 百万円)

科目	前第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	<b>当第2四半期</b> 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,819	12,042
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 31,685	△ <b>7,378</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,012	△8,614
現金及び現金同等物に係る換算差額	221	231
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,367	△3,720
現金及び現金同等物の期首残高	20,262	28,237
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	_	0
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,630	24,517



## 会社の概要 (平成26年9月30日現在)

設立年月日

昭和25年4月1日

主要な事業内容

外航貨物海上運送事業および

これに関連または付帯する事業

資本の額 上場取引所 10,300,000,000円

本 衦 東京 (第一部)

T100-8108

東京都千代田区大手町一丁目5番1号 Tel (03) 6895-6400 (番号案内席)

駐在員事務所 海 外 法 人 ロンドン、香港、上海、ベトナム 英国、米国、香港、シンガポール、フィリピン

従業員数

陸上191名、海上42名 計233名

(出向者を含みます)

運航船腹量 (外航船)

120隻 (11,433,206重量トン)

#### 役 員

代表取締役計長.

取締役および監査役

### 執行役員

社長執行役員	小	峀		徹
取締役・ 常務執行役員	高	木	_	美
取締役・ 常務執行役員	横	溝	豊	彦

松 宏 常務執行役員 取締役・ 田泰 常務執行役員

取締役(非常勤) 榮 敏 治 端川真 吾 取締役(非常勤)

坂 本 好 # 監査役(常勤)

監査役

取締役・

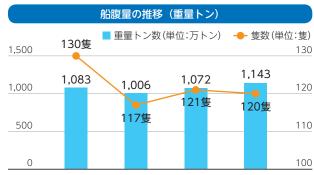
政 明 (常勤、社外監査役)

監査役

高畑尚紀 (非常勤、社外監查役)

監査役 三谷康人 (非常勤、社外監査役)

執行役員	$\equiv$	$\blacksquare$		弘
執行役員	菅	原		泰
執行役員	$\equiv$	浦	和	也
執行役員	矢			新
執行役員	峯	村	保	広
執行役員	小厂	ШШ	充	宏
執行役員	中	$\blacksquare$	義	文



平成23年度末 平成24年度末 平成25年度末 平成26年度9月末

### 株式の状況

発行済み株式の総数 230.764.400株

株 主 8.461名(単元未満株主も含みます)

大 株 主

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
新日鐵住金株式会社	78,456	34.01
日本郵船株式会社	43,247	18.75
東京海上日動火災保険株式会社	10,016	4.34
株式会社みずほ銀行	7,495	3.25
三井住友海上火災保険株式会社	5,860	2.54
三菱重工業株式会社	5,400	2.34
新健海運股份有限公司	5,048	2.19
株式会社損害保険ジャパン	4,800	2.08
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,250	0.98
CBVY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	2,200	0.95

(注) 出資比率は自己株式 (90.873株) を控除して計算しております。

## 主要なグループ会社

(※) NSユナイテッド内航海運株式会社 NSユナイテッドタンカー株式会社 NSユナイテッドマリンサービス株式会社 日邦マリン株式会社 NSユナイテッドビジネス株式会社 NSユナイテッドシステム株式会社 NS UNITED TANKER PTE. LTD.

航 海 運 業 航 海 運 業 安全監督・新造船建造監督業 船員 派遣 事 業 経 理 業 務 受 託 情報システムの開発・保守業 外 航 海 運

(※) NSユナイテッド内航海運株式会社は、平成26年10月1日付で、新和内航 海運株式会社から商号変更を行いました。

## NSユナイテッド海運グループ

## 企業理念

#### I 基本理念

NSユナイテッド海運グループは、誠実で良質な海上輸送サービスの提供を通じて社会の発展に貢献します。

#### Ⅱ 経営理念

1 (信用・信頼)

信用・信頼される堅実な経営を実践し、グループ全体 の企業価値を高めます。

2 (安全運航・環境保全)

常に船舶の安全運航に努めるとともに船舶運航技術の向上に向け日々研鑽を積むことにより海洋をはじめとする地球環境保全の一翼を担います。

- 3 (お客様への即応・自己変革) お客様の要請に即応しつつ自らも変革に努め、さらな る進歩を目指して挑戦します。
- 4 (人を育て活かす) 人を育て活かし、働く喜びを実感できる活力溢れるグループを築きます。

#### Ⅲ 企業行動規範

- 1 法令・規則を遵守し、高い倫理観をもって行動します。
- 2 公正かつ自由な競争ならびに適正な取引を行い、政治・行政との健全かつ正常な関係を保ちます。
- 3 広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報 を積極的かつ公正に開示するとともに各種情報の保護・管理を徹底します。
- 4 安全・健康で働きやすい職場環境を実現するとともに、従業員の人格と多様性を尊重します。
- 5 社会の一員として、積極的に地域・社会に貢献します。
- 6 反社会的勢力や団体とは一切の関係を持たず、不当な要求に対しては、断固たる態度で臨みます。
- 7 各国・地域の法律を遵守し、各種の国際規範、文化、 慣習等を尊重して事業を行います。
- 8 本規範を遵守し、その確実な実行に向けた体制を確立するとともに、本規範に違背する事態が発生した時は、迅速に原因究明と再発防止に努め、的確に説明責任を果たします。

平成25年10月1日

## NSユナイテッド海運グループ

## 環境方針

- 1 私たちは、世界の海を舞台に海上輸送サービスを提供する海運企業グループとして、全人類の共通財産である地球の環境保全に努め行動します。
- 2 私たちは、環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善に努め、汚染の予防に努めます。
- 3 私たちは、船舶の運航及び事務所内活動において適用 される環境の法規制及びその他の要求事項を順守しま す。
- 4 私たちは、各部門において環境方針に適合した環境目的および環境目標を設定し、実施計画に従って目的及び目標の達成に努めます。また環境目的と目標を確実に達成するために、定期的に達成度のレビューを行います。
- 5 私たちは、環境教育・広報活動などにより、NSユナイテッド海運グループのために働くすべての人が環境問題に対する意識を高め、本環境方針に基づき、行動するように努めます。
- 6 私たちは、私たちのサービス提供に必要な船舶、機器 類、その他の製品および資材の環境負荷の低減を考慮 した調達に努めます。
- 7 私たちは、NSユナイテッド海運グループ全体で、省エネルギー、省資源の推進を図ると共に、廃棄物の削減及びその適正な処分に努めます。
- 8 私たちは、環境方針及び環境保全活動を必要に応じ公表します。

平成23年6月28日 NSユナイテッド海運株式会社 代表取締役社長

小畠徹

## 株主メモ

■ 3月31日

株 主 名 簿 管 理 人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

期末配当金支払株主確定日 3月31日

みずほ信託銀行株式会社

(中間配当金支払株主確定日 9月30日) 定時株主総会開催日 6月下旬

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

本店証券代行部

同総会権利行使株主確定日 3月31日

証券会社に口座をお持ちの場合 特別口座の場合 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部 ▼ フリーダイヤル0120 (288) 324 (土・日祝日を除く9:00~17:00) お取引の証券会社に みずほ証券 本店、全国各支店および営業所プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いたします。

各種手続お取扱店

郵送物送付先

電話お問い合わせ先

みずほ信託銀行株式会社本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承 ください。

未払配当金のお支払

みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)

支払明細発行については、右の 「特別口座の場合」の郵便物送 付先・電話お問合わせ先・各種 手続お取扱店をご利用ください。

なります。

特別口座では単元未満株式の買取・買増以外の株 式売買はできません。証券会社等に□座を開設し、 株式の振替手続を行っていただく必要があります。

□ 上記確定日のほか、必要あるときは予め公告の上、基準日を定めます。

元 株 式 数 1.000株

告 の 方 法 電子公告により行う。

公告掲載URL http://www.nsuship.co.jp/ (ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事中が 生じた時には、東京都において発行される日本経済新聞に掲載されます。)

証券コード9110

ホームページアドレス http://www.nsuship.co.jp/(決算情報などがご覧になれます。)

#### 【単元未満株式に関するお知らせ】

1.000株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元 (1,000株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を、2010年10月1日より導入しております。 また、単元未満株式の買取請求につきましても、お取り扱いしております。



## NSユナイテッド海運株式会社

〒100-8108 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア ウェストタワー TEL 03-6895-6400



(※)ISO9001は船舶管理部門のみ取得しており ます。

## ホームページのご案内

ホームページでは、IR情報をはじめさまざまな 情報をタイムリーに発信しております。是非ご 覧ください。



【トップページ】

http://www.nsuship.co.jp/



見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォント を採用しています。



環境にやさしい植物油インキを使用して印刷してい



森林管理協議会(Forest Stewardship Council®) で認証された適切に管理された森林からの原料を含 む、FSC認証紙を使用しています。